

3 資格取得別カリキュラム

I 単位を修得することにより得られる資格

1 ビジネス実務士

ビジネス実務士とは全国大学実務教育協会により認定される資格で、ビジネスの実務の教育を受けたことを証明するものです。

系	ユニット名	科目名	授業形態	単位数	開講期				備考
					1年		2年		
					前期	後期	前期	後期	
ビジネス情報・金融	ビジネス実務士(22)	ビジネス実務総論	講義	2	○				
		情報科学	講義	2	○				
		情報処理論	講義	2	○				
		コンピュータ会計演習	講義	2			○		2コマ連続
		簿記会計学	講義	2		○			
		ビジネス実務演習	演習	2		○			2コマ連続
		キャリアデザインⅠ	講義	2	●				「ベーシック」と同じ
		オフィススタディ	講義	2				○	
		プレゼンテーション演習	演習	2		○			
		キャリアデザインⅡ	講義	2		●			「ベーシック」と同じ
		キャリアデザインⅢ	講義	2				●	「ベーシック」と同じ

2 上級情報処理士

上級情報処理士とは全国大学実務教育協会により認定される資格で、情報活用能力のある職業人としての専門知識・技能と洗練された実務能力を有した者に付与されるものです。

系	ユニット名	科目名	授業形態	単位数	開講期				備考
					1年		2年		
					前期	後期	前期	後期	
ビジネス情報・金融	上級情報処理士 (24)	情報科学	講義	2	○				「ビジネス実務士」と同じ
		情報処理論	講義	2	○				「ビジネス実務士」と同じ
		情報環境論	講義	2				○	
		情報処理演習Ⅰ	演習	1	○				共通教育科目
		情報処理演習Ⅱ	演習	1		○			共通教育科目
		データベース概論	講義	2			○		
		コンピュータネットワーク	講義	2				○	
		プレゼンテーション演習	演習	2		○			
		データベース演習	演習	2				○	
		基礎プログラミング演習	演習	2		○			2コマ連続
		マルチメディア演習(2DCG)	演習	2			○		2コマ連続
		ベーシックゼミ	演習	2			◎	◎	「ベーシック」と同じ
		プログラミング演習	演習	2			○		2コマ連続

3 観光実務士

全国大学実務教育協会により認定される資格で、観光ビジネスに関する基礎知識・専門知識に加え、それに必要とされる技術と実務能力を有した者に付与されるものです。

系	ユニット名	科目名	授業形態	単位数	開講期				備考
					1年		2年		
					前期	後期	前期	後期	
観光	観光実務士(26)	観光概論 ※	講義	2		○			
		観光事業論	講義	2				○	「ビジネス実務士」と同じ
		観光ビジネス実務総論	講義	2		○			
		観光英会話 ※	演習	2	◎	◎	◎	◎	1又は2年選択
		地域観光論	講義	2	○				
		プレゼンテーション演習 ※	演習	2		○			「ビジネス実務士」「上級情報処理士」と同じ
		観光ビジネス実務実習	実習	2		○			7日間のインターンシップ
		観光ガイドトレーニング	講義	2				○	
		旅行業法	講義	2	○				
		観光関連約款	講義	2	○				
		旅行業実務Ⅰ	講義	2	○				
		旅行業実務Ⅱ	講義	2		○			
		ホスピタリティ概論 ※	講義	2	○				

4 フードコーディネーター3級

日本フードコーディネーター協会が認定する資格です。食に関する文化、科学、デザイン・アート、経済・経営の各分野の基礎的な教育を受けたことを証明するものです。

系	ユニット名	科目名	授業形態	単位数	開講期				備考
					1年		2年		
					前期	後期	前期	後期	
カフェ・フード	フードコーディネーター(15)	食文化論	講義	2				○	
		食環境コーディネーター	講義	2			○		
		フードショッププランニング	講義	2				○	
		調理方法と調理機器	実習	2			○		2コマ連続 2クラス展開
		テーブルコーディネーター	実習	1			○		2クラス展開
		食品学Ⅰ	講義	2	○				2クラス展開
		栄養学A ※	講義	2			○		
		食品衛生学Ⅰ	講義	2		○			2クラス展開

5 司書

都道府県や市町村の公共図書館等で図書館資料の選択、発注から、分類、目録作成、貸出、読書案内などを行う専門職員です。資格を生かして実際に司書として活躍するためには、当該自治体の公務員採用試験に合格することが前提となります。

系	ユニット名	科目名	授業形態	単位数	開講期				備考
					1年		2年		
					前期	後期	前期	後期	
司書・公務員	司書(24)	生涯学習概論	講義	2	○				
		図書館概論	講義	2	○				
		図書館制度・経営論	講義	2				○	
		図書館サービス概論	講義	2		○			
		情報サービス論	講義	2			○		
		情報サービス演習	演習	2				○	2コマ連続
		図書館情報技術論	講義	2				○	
		図書館情報資源概論	講義	2	○				
		情報資源組織論	講義	2		○			
		情報資源組織演習	演習	2			◎	◎	
		児童サービス論	講義	2	○				
		図書館情報資源特論	講義	1		1/2			2科目以上選択
		図書館基礎特論	講義	1		1/2			
フリー科目		図書館実習	実習	1		○			

6 社会福祉主事任用資格

自治体の福祉事務所や社会福祉施設職員等に必要とされる資格で、社会福祉の基礎的な教育を受けたことを証明するものです。

科目名	授業形態	単位数	開講期				備考
			1年		2年		
			前期	後期	前期	後期	
心理学入門	講義	2	○				「介護福祉士ユニット」以外の学生の指定科目
人体の構造・機能・疾病	講義	2	○				
社会福祉概論	講義	2	○				
社会福祉概論	講義	2	○				「介護福祉士ユニット」に含まれている指定科目
介護概論Ⅰ	講義	2	○				
介護概論Ⅱ	講義	2		○			
介護概論Ⅲ	講義	2			○		
介護概論Ⅳ	講義	2				○	
リハビリテーション概論	講義	2			◎	◎	

7 介護職員初任者研修

「訪問介護員養成研修（ホームヘルパー）2級」資格に代わって、2013年度から開始された介護の基本について学ぶものです。「修了証明書」を得ると、「有資格者」として介護関係の仕事につくことができます。

系	ユニット名	科目名	授業形態	単位数	開講期				備考
					1年		2年		
					前期	後期	前期	後期	
社会福祉	初任者研修⑥	介護初任者研修	演習	6	◎	◎	◎	◎	1又は2年選択

Ⅱ 単位を修得することにより得られる受験資格

1 製菓衛生師

下記科目の全単位を修得することで厚生労働省管轄の国家資格である「製菓衛生師」の受験ができます。合格すると「製菓衛生師」の資格が得られます。

系	ユニット名	科目名	授業形態	単位数	開講期				備考
					1年		2年		
					前期	後期	前期	後期	
製菓	製菓衛生師(48)	食品学Ⅰ	講義	2	○				2クラス展開
		栄養学B	講義	2	○				
		食品衛生学Ⅰ	講義	2	○				2クラス展開
		食品学Ⅱ	講義	2		○			
		栄養学各論	講義	2		○			
		公衆衛生学Ⅰ	講義	2	○				
		公衆衛生学Ⅱ	講義	2		○			
		衛生法規	講義	2		○			
		食品衛生学Ⅱ	講義	2	○				
		食品衛生学Ⅲ	講義	2	○				
		食品衛生学Ⅳ(衛生管理)	演習	1	○				
		製菓社会論	講義	2		○			
		製菓理論Ⅰ	講義	2	○				
		製菓理論Ⅱ	講義	2	○				
		製菓理論Ⅲ	講義	2		○			
		洋菓子入門	実習	2	○				2コマ連続
		和菓子入門	実習	2	○				2コマ連続
		製パン入門	実習	3	○				3コマ連続
		洋菓子専門	実習	2		○			2コマ連続
		製パン・和菓子専門	実習	4		○			4コマ連続
洋菓子応用Ⅰ	実習	2		○			2コマ連続		
洋菓子応用Ⅱ	実習	2		○			2コマ連続		
校外実習	実習	2		集中			集中		

※製菓衛生師課程の科目については、欠席は認められませんので注意してください。

2 介護福祉士

下記科目の全単位を修得する事で厚生労働省管轄の国家資格である「介護福祉士」の受験ができます。合格すると「介護福祉士」の資格が得られます。

系	ユニット名 (単位数)	領域	社会福祉士及び介護福祉士法施行規則等に定める必修科目	指定時間数	科目名	授業形態	単位数	時間数	開講期				備考	
									1年		2年			
									前期	後期	前期	後期		
介護福祉士	(86)	人間と社会	人間の尊厳と理解	30時間以上	人間の尊厳と自立	講義	2	30	○					
			人間関係とコミュニケーション	30時間以上	人間関係とコミュニケーション	講義	2	30	○					
			社会の理解	60時間以上	生活と福祉	講義	2	30	○					
					社会と福祉制度	講義	2	30		○				
			人間と社会に関する選択科目	120時間	社会福祉概論	講義	2	30	○					
					キャリアデザインⅠ	講義	2	30	●					
		キャリアデザインⅡ			講義	2	30		●					
		介護の基本	180時間	介護概論Ⅰ	講義	2	30	○						
				介護概論Ⅱ	講義	2	30		○					
				介護概論Ⅲ	講義	2	30			○				
				介護概論Ⅳ	講義	2	30				○			
				リハビリテーション概論	講義	2	30			◎	◎			
				アクティビティ概論	講義	2	30			◎	◎			
				コミュニケーション技術	60時間	コミュニケーション技術概論	講義	2	30		○			
						コミュニケーション技術演習	演習	1	30			◎	◎	
				生活支援技術	300時間	福祉住環境論	講義	2	30	○				
						生活支援技術Ⅰ	演習	2	60	○				
						生活支援技術Ⅱ	演習	2	60		○			
						生活支援技術Ⅲ	演習	2	60		○			
		生活支援技術Ⅳ	演習			2	60			◎	◎			
		生活支援技術Ⅴ	1	30	生活支援技術Ⅴ	演習	1	30				○		
					介護過程	150時間	介護過程Ⅰ	演習	2	60	◎	◎		
							介護過程Ⅱ	演習	2	60			◎	◎
		介護過程Ⅲ	演習	1			30				○			
		介護総合演習	120時間	介護総合演習Ⅰ	演習	2	60	◎	◎					
				介護総合演習Ⅱ	演習	2	60			◎	◎			
		介護実習	450時間	介護実習Ⅰ	実習	2	112	◎	◎					
				介護実習Ⅱ	実習	3	128			○				
				介護実習Ⅲ	実習	5	216				○			
		かこらこだろのしくみ	60時間	発達と老化の理解	生涯発達論Ⅰ	講義	2	30	○					
					生涯発達論Ⅱ	講義	2	30		○				
			60時間	認知症の理解	認知症の理解Ⅰ	講義	2	30		○				
認知症の理解Ⅱ	講義				2	30			◎	◎				

系	(ユニット名) 単位数	領域	社会福祉士及び介護福祉士法施行規則等に定める必修科目	指定時間数	科目名	授業形態	単位数	時間数	開講期				備考
									1年		2年		
									前期	後期	前期	後期	
介護福祉社	(86)	こころとからだのしくみ	障害の理解	60時間	障害の理解Ⅰ	講義	2	30		○			
					障害の理解Ⅱ	講義	2	30			○		
			こころとからだのしくみ	120時間	人体の構造・機能・疾病	講義	2	30	○				
					こころとからだのしくみⅠ	講義	2	30	○				
					こころとからだのしくみⅡ	講義	2	30		○			
					こころとからだのしくみⅢ	講義	2	30			○		
			医療的ケア	50時間以上	医療的ケアⅠ	講義	2	30		○			
					医療的ケアⅡ	講義	2	30			◎	◎	
					医療的ケアⅢ	演習	1	15			◎	◎	

※法改正後は、「受験資格」と共に「5年間の介護福祉士資格（5年間介護業務に従事することで継続）」を得る。

3 健康運動実践指導者

健康・体力づくり事業財団が認定し、医学的な基礎知識、運動生理学の知識、健康づくりのための運動指導知識・技術等を持ち、様々なトレーニングの実践指導を行うことができると認められた人に与えられます。「健康運動実践指導者」の称号を得るには、下記科目の全単位取得を条件に、「健康運動実践指導者認定試験」に合格しなければなりません。フィットネストレーナーをめざす人はぜひ取っておきたい称号です。

系	(ユニット名) 単位数	科目名	授業形態	単位数	開講期				備考
					1年		2年		
					前期	後期	前期	後期	
スポーツ	(8)	スポーツ心理学	講義	2	○				
		スポーツ社会学	講義	2			○		
		健康管理と栄養	講義	2	○				
		スポーツ実技Ⅰ(健康スポーツ) ※	実技	1	○				
		スポーツ実技Ⅱ(ジュニアスポーツ) ※	実技	1	○				
	(18)	スポーツ生理学 ※	講義	2		○			
		トレーニング実技演習	演習	3		○			2コマ連続
		スポーツ実技Ⅲ(球技系スポーツ) ※	実技	1		○			
		スポーツ実技Ⅳ(ダンス) ※	実技	1		○			
		スポーツ実技Ⅴ(スノーボード) ※	実習	1		集中			
		スポーツ方法実習Ⅰ(ジュニアスポーツ) ※	演習	1		○			
		スポーツ方法実習Ⅱ(健康スポーツ) ※	演習	2			◎	◎	
		スポーツ方法実習Ⅲ(ダンス) ※	演習	1				○	
		運動障害と救急法	演習	3			○		2コマ連続
運動処方演習 ※	演習	3			○		2コマ連続		

4 フィットネスインストラクター

ADI (エアロビックダンスインストラクター)

REI (レジスタンスエクササイズインストラクター)

SEI (ストレッチングエクササイズインストラクター)

日本フィットネス協会が認定する資格で、エアロビクス、レジスタンスエクササイズ(筋力トレーニング)、ストレッチングエクササイズに関する知識と技術を習得するとともに、指導者に必要なポイントを効果的に学習し、インストラクターとして幅広く活躍できる実力を養います。

系	ユニット名 (単位数)	科目名	授業形態	単位数	開講期				備考
					1年		2年		
					前期	後期	前期	後期	
スポーツ	健康スポーツ (8)	スポーツ心理学	講義	2	○				
		スポーツ社会学	講義	2			○		
		健康管理と栄養	講義	2	○				
		スポーツ実技Ⅰ(健康スポーツ) ※	実技	1	○				
		スポーツ実技Ⅱ(ジュニアスポーツ) ※	実技	1	○				
	生涯スポーツ (18)	スポーツ生理学 ※	講義	2		○			
		トレーニング実技演習	演習	3		○			2コマ連続
		スポーツ実技Ⅲ(球技系スポーツ) ※	実技	1		○			
		スポーツ実技Ⅳ(ダンス) ※	実技	1		○			
		スポーツ実技Ⅴ(スノーボード) ※	実習	1		集中			
		スポーツ方法実習Ⅰ(ジュニアスポーツ) ※	演習	1		○			
		スポーツ方法実習Ⅱ(健康スポーツ) ※	演習	2			◎	◎	
		スポーツ方法実習Ⅲ(ダンス) ※	演習	1				○	
		運動障害と救急法	演習	3			○		2コマ連続
		運動処方演習 ※	演習	3			○		2コマ連続

5 アクティビティ・ワーカー

介護を必要とする人の心身・生活の活性化を図り文化的でこころ豊かに生きることを支援する、特定非営利法人アクティビティ・サービス協議会が認定する資格です。

科目名	授業形態	単位数	開講期				備考
			1年		2年		
			前期	後期	前期	後期	
介護概論Ⅰ	講義	2	○				「介護福祉士ユニット」に含まれている
アクティビティ概論	講義	2			◎	◎	
コミュニケーション技術演習	演習	1			◎	◎	

6 ジュニアスポーツ指導員

発育発達期の子どもたちについての専門的な知識と技術をもち、総合的な身体づくりと基礎的動作の習得を目的としてプログラムを提供できる指導者です。地域で、子どもたちにあそびやスポーツを通した身体づくりの指導を行う際に役立ちます。

系	ユニット名 (単位数)	科目名	授業形態	単位数	開講期				備考
					1年		2年		
					前期	後期	前期	後期	
スポーツ	健康スポーツ (8)	スポーツ心理学	講義	2	○				
		スポーツ社会学	講義	2			○		
		健康管理と栄養	講義	2	○				
		スポーツ実技Ⅰ(健康スポーツ) ※	実技	1	○				
		スポーツ実技Ⅱ(ジュニアスポーツ) ※	実技	1	○				
	生涯スポーツ (18)	スポーツ生理学 ※	講義	2		○			
		トレーニング実技演習	演習	3		○			2コマ連続
		スポーツ実技Ⅲ(球技系スポーツ) ※	実技	1		○			
		スポーツ実技Ⅳ(ダンス) ※	実技	1		○			
		スポーツ実技Ⅴ(スノーボード) ※	実習	1		集中			
		スポーツ方法実習Ⅰ(ジュニアスポーツ) ※	演習	1		○			
		スポーツ方法実習Ⅱ(健康スポーツ) ※	演習	2			◎	◎	
		スポーツ方法実習Ⅲ(ダンス) ※	演習	1				○	
運動障害と救急法	演習	3			○		2コマ連続		
運動処方演習 ※	演習	3			○		2コマ連続		

7 ピアヘルパー

“ピア”は「仲間」、「ヘルパー」は「助ける人」ですから、ピアヘルパーは“仲間を助ける人”という意味です。カウンセリングや関連する心理学の理論方法について学習し資格を習得すると、教育・福祉・保育などの実際場面で人とかかわるために必要な基本的な力を身につけた者であることが証明されます。

系	ユニット名 (単位数)	科目名	授業形態	単位数	開講期				備考
					1年		2年		
					前期	後期	前期	後期	
スポーツ	ピアヘルパー (8)	キャリアデザインⅠ	講義	2	●				「ベーシック」と同じ
		キャリアデザインⅡ	講義	2		●			「ベーシック」と同じ
		心理学入門	講義	2	○				共通教育科目
		ピアヘルパー養成講座	講義	2		○			

8 コーチングアシスタント

地域のスポーツ団体において、上位資格者を補佐して基礎的なスポーツ指導や運営をするための資格です。これを取得することで、競技別指導者資格(水泳、バレーボールほか)へステップアップすることが可能になります。

系	ユニット名 (単位数)	科目名	授業形態	単位数	開講期				備考
					1年		2年		
					前期	後期	前期	後期	
ス ポ ー ツ	健康 ス ポ ー ツ (8)	スポーツ心理学	講義	2	○				
		スポーツ社会学	講義	2			○		
		健康管理と栄養	講義	2	○				
		スポーツ実技Ⅰ(健康スポーツ) ※	実技	1	○				
		スポーツ実技Ⅱ(ジュニアスポーツ) ※	実技	1	○				
	生 涯 ス ポ ー ツ (18)	スポーツ生理学 ※	講義	2		○			
		トレーニング実技演習	演習	3		○			2コマ連続
		スポーツ実技Ⅲ(球技系スポーツ) ※	実技	1		○			
		スポーツ実技Ⅳ(ダンス) ※	実技	1		○			
		スポーツ実技Ⅴ(スノーボード) ※	実習	1		集中			
		スポーツ方法実習Ⅰ(ジュニアスポーツ) ※	演習	1		○			
		スポーツ方法実習Ⅱ(健康スポーツ) ※	演習	2			◎	◎	
		スポーツ方法実習Ⅲ(ダンス) ※	演習	1				○	
運動障害と救急法	演習	3			○		2コマ連続		
運動処方演習 ※	演習	3			○		2コマ連続		